

事業承継における補助金活用提案

補助金活用

支援の経緯・課題

御菓子処絹笠より「フードプリンター導入を検討しており「ものづくり補助金」申請を考えている。」との相談を受けた。また数日後、同社から「同業の『まむ多』が道路拡幅により店舗移転を余儀なくされ、これを機に閉店を考えている、と伺った。20有余年、師匠のようにご指導を受けた先輩の築いてこられた北河内の和菓子を絶やしてはいけないとの思いから、継承を打診したところ快諾いただいた」とのこと。それなら、「ものづくり補助金」ではなく、「事業承継補助金」を検討されるべきだと提案し同意を得た。事業承継するためには、雇用維持はもちろん、事業再編を伴い多額の費用が必要なため、事業承継補助金制度で該当する類型を協議し、申請に着手した。申請書作成、補助率UP要件の確認などを行った。



まむ多 萱島店

支援内容

絹笠様からご相談いただいた内容から、これは「事業承継補助金制度」の趣旨に沿うのでは、と思ってお勧めした。「『まむ多』の従業員さんともども事業承継したい。かつ『フードプリンター』導入によって、革新性・先進性を高め、さらにお客様ニーズにお応えしたい。」との思いから同意を得た。同制度のなかで協議した結果、類型は「事業再編・事業統合支援型」が補助上限額も高いため、これを目指した。加点要件のひとつである「先端設備導入計画」の申請についても提案の結果取り組むこととなった。

支援の成果

7月に採択決定通知をいただき、交付金額は上限に近い額となった。補助事業期間の期限が2020年末だったため、これを考慮して承継事業をすすめ、事業承継・事業再編を行った。



支援企業

有限会社和心

代表取締役 高田 佳代子 創業：2015年10月5日

事業内容：賃貸業・和菓子製造

所在地：門真市常盤町 2-3

企業様の声

『まむ多』の和菓子製造販売スタッフも引き続き雇用させていただいたので、スムーズに継続できるのでは、と思った。地域一番店が閉店しなかったことで、北河内の伝統的な和菓子文化を継承することができ、かつ「フードプリンター導入」により、さらにお客様によりよることができることが地域貢献につながった。



担当CDより

日頃から絹笠担当者の誠実さを感じしていたので、交付決定を受けて、サポートセンターとしても非常に嬉しい限り。事業再編、事業継承、道路拡幅が重なり、今夏まで超多忙が続くと思うが、ぜひお客様の熱いご声援にお応えいただけるよう、新型コロナウイルスにも負けずがんばっていただきたい。